

# 横浜シンフォニエッタ祭#2 若き才能とともに Vol.2



PHOTO: SHIGETO IML

2021年12月10日 **金** 19時開演 青葉区民文化センター フィリアホール  
18時30分開場 全席自由 ¥5,000

## ▶ 曲目

- モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲第5番 イ長調 KV219
- チャイコフスキー：ロココの主題による変奏曲
- モーツァルト：交響曲第40番 ト短調 KV550 後期稿

## ▶ 出演

指揮：山田和樹（横浜シンフォニエッタ音楽監督）  
ヴァイオリン：大久保瑠名 チェロ：北村陽

## ▶ プレコンサートのご案内

18時40分より山田和樹×古海行子によるラヴェル：ラ・ヴァルス（ピアノデュオ版）！

## ▶ ご案内

- ・ 本公演は小学生以上からご入場いただけます。
  - ・ ご来場前、ご自宅で検温をお願いします。発熱（37.5℃以上目安）又は風邪の症状がある場合は来場をお控え下さい。
  - ・ 今後の状況によっては、出演者や曲目等が変更になる場合や、公演が中止となる場合があります。あらかじめご了承ください。
  - ・ ご来場の際にはフィリアホール作成「新型コロナウイルス感染拡大防止のための施設利用上のお願い」を必ずお読みください。
- ▶ フィリアホール公式サイト <https://www.philiahall.com/>

チケットご予約は  
MUSIC DESIGN STOREから！

▶ <https://musicdesign.theshop.jp/>



本公演翌日（12月11日）には  
おしゃべり室内楽コンサートも開催♪  
なんと大学生以下は50円！（一般1,000円）

▶ <http://yokohama-sinfonietta.com/>

**ARTS**  
ARTS for the future!

主催：一般社団法人横浜シンフォニエッタ

### 山田和樹（指揮・横浜シンフォニエッタ音楽監督）

第51回(2009年)ブザンソン国際指揮者コンクールで優勝。ほどなくBBC交響楽団を指揮してヨーロッパ・デビュー。同年、ミシェル・ブラッソンの代役でパリ管弦楽団を指揮。以降、ドレスデン国立歌劇場管弦楽団（シュターツカペレ・ドレスデン）、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、フィルハーモニア管弦楽団、トゥールーズ・キャピトル国立管弦楽団、ベルリン放送交響楽団、エーテポリ交響楽団、サンクトペテルブルグ・フィルハーモニー交響楽団など世界の主要オーケストラに客演を重ねている。

2017年にはベルリン・コーミッシェ・オーパーで《魔笛》、モンテカルロ歌劇場で《サムソンとデリラ》を指揮して高い評価を得るなど、オペラの分野でも活躍。

2014/2015年にアメリカ・デビュー、2015/2016年にはオセアニア・デビュー。

2021年にはサンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団デビューを成功させ、再客演が予定されている。

2012年から2018年までスイス・ロマンツ管弦楽団の首席客演指揮者を務めた他、2016/17シーズンから、モンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団芸術監督兼音楽監督に就任。2018/2019シーズンから首席客演指揮者を務めるバーミンガム市交響楽団では、2023年4月から首席指揮者兼アーティスティックアドバイザーに就任することが発表された。

日本では、日本フィルハーモニー交響楽団正指揮者、読売日本交響楽団首席客演指揮者、東京混声合唱団音楽監督兼理事長、学生時代に創設した横浜シンフォニエッタの音楽監督としても活動している。

小澤征爾氏の信頼厚く、2010年に指名代役としてスイス国際音楽アカデミーを指揮。以降参加を重ねる他、2012年にはサイトウ・キネン・フェスティバル松本でオネゲル作曲《火刑台上のジャンヌ・ダルク》を指揮、同時期にサントリー芸術財団サマーフェスティバルでクセナキス作曲《オレスティア三部作》を指揮し、獅子奮迅の活躍が目立った。2014年7月にはスイス・ロマンツ管弦楽団15年ぶりとなる日本公演を、2016年にはバーミンガム市交響楽団日本公演を成功に導いた。

東京藝術大学指揮科で松尾葉子・小林研一郎の両氏に師事。

出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、実行委員会代表を務めた『柴田南雄生誕100年・没後20年 記念演奏会』が平成28年(2016年)度文化庁芸術祭大賞、日本フィルハーモニー交響楽団と3年に亘り行った『山田和樹マラー・ツィクルス』が第67回(2017年)芸術選奨文部科学大臣新人賞など受賞多数。

2019年には世界各国206の国歌を現地語でレコーディングするという“アンセム・プロジェクト”を東京混声合唱団と完結しキングレコードからリリースした他、オクタヴィア・レコード、PENTATONE、EXTON、日本コロムビア(DENON)などから多くのCDを発表。

著述に『「超」音楽対談 オーケストラに未来はあるか』（対談・アルテスパブリッシング刊）、『「自由」の危機 一息苦しさの正体』（論考集・集英社新書）などがある。

本質に迫るとともにファンタジーあふれる音楽づくり、演奏家たちと一体になって奏でるサウンドは、音楽の喜びと真髄を客席と共有し熱狂の渦に巻き込む。名実ともに日本を代表する人気マエストロである。

ベルリン在住。

公式twitter @yamakazu\_takt

### 一般社団法人横浜シンフォニエッタ

1998年TOMATOフィルハーモニー管弦楽団として東京藝術大学学内に創設。後に横浜シンフォニエッタへと改称、音楽監督に山田和樹を擁し、横浜に活動拠点を置くオーケストラとして国内外で演奏活動を展開している。

2013年フランス・ナントのラ・フォル・ジュルネ音楽祭へ日本の楽団として初めて招聘され、2015年韓国(統営・国際音楽祭)、2017年ロシア(モスクワ・ロストロポーヴィチ国際音楽祭)と海外の著名な音楽祭にて公演を重ねる。CDリリースも多数、題名のない音楽会等に出演し、世界の最先端を行くイノベーション・オーケストラとして注目を集める。2013年にはその功績を高く評価され横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。2014年2月のサントリーホール公演にて皇后陛下に御臨席を賜る。公式サイト yokohama-sinfonietta.com



©Zuzanna Specjal

### 大久保瑠名（ヴァイオリン）

2006年生まれ。3歳よりヴァイオリンを益田みどり氏に師事。第1回桐朋学園ジュニア音楽コンクール第1位、第69回及び73回全日本学生音楽コンクール東京大会第1位・全国大会第3位、第3回日本奏楽コンクールグランプリ受賞及び弦楽器部門第1位・ロシア音楽賞。第75回全日本学生音楽コンクール東京大会第1位・全国大会第2位。「題名のない音楽会〜神童たちの音楽会2017」に出演、田中祐子指揮東京交響楽団と共演。ラ・フォル・ジュルネ2018TOKYOにて「題名のない音楽会」特別コンサートに出演。桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コース1年及び慶應義塾女子高等学校1年在学中。現在、ヴァイオリンを寺沢希美、辰巳明子、ピアノを内藤由衣、作曲を三瀬和朗の各氏に師事。趣味は乗馬、バレエ鑑賞。

### 北村陽（チェロ）

2004年生まれ。2017年、第10回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール優勝。9歳でオーケストラと初共演、10歳で初リサイタルを行う。これまでに、読売日本交響楽団、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、群馬交響楽団、山形交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団に招かれ、小林研一郎、井上道義、大友直人、藤岡幸夫、阪哲朗、小林資典ら各氏と共演。テレビ朝日「題名のない音楽会〜神童たちの音楽会2017」、BSテレ東「エンター・ザ・ミュージック」、MHK-FM「リサイタル・ノヴァ」「ブラボー！オーケストラ」などに出演。W・ベッチャー、P・ミュレル、M・マイスキー、M・ブルネロ、J=P.マインツら各氏のマスタークラスを受講。堤剛、山崎伸子、太田真実、故ギア・ケオシヴィリ各氏に師事。2021年霧島国際音楽祭受賞。現在、特待生として桐朋女子高等学校音楽科（男女共学）2年に在籍。使用楽器は、上野製薬株式会社より貸与されている1668年製「カッシーニ」。